

# 東海大学付属甲府高等学校 自然科学同好会

高校生ボランティア・アワード2024

## 活動理念

「自然を愛し、楽しく学ぶ」

TOKAI KOFU



## 活動目的

私たち自然科学同好会は、「自然を愛し、楽しく学ぶ」をモットーに活動しています。主に荒川水系での生物採集、河川清掃、外来種の駆除を行っています。河川清掃では、NPO法人「未来の荒川をつくる会」と協力し、毎年20トン以上のごみを回収しています。昨年度は、甲府市とともに山梨への移入が問題になっている特定外来生物であるオオカワヂシャの防除を実施しました。それに伴い、今年度は、オオカワヂシャの駆除活動を積極的に行い、本来の荒川水系を守れるよう活動します。



## 活動内容

### 【清掃活動】

- ・山梨県内河川
- ・海岸(静岡県)

### 【生態調査】

- ・生物採取(河川、山林、海など)
- ・微生物の観察、飼育
- ・データ化

### 【外来種駆除】

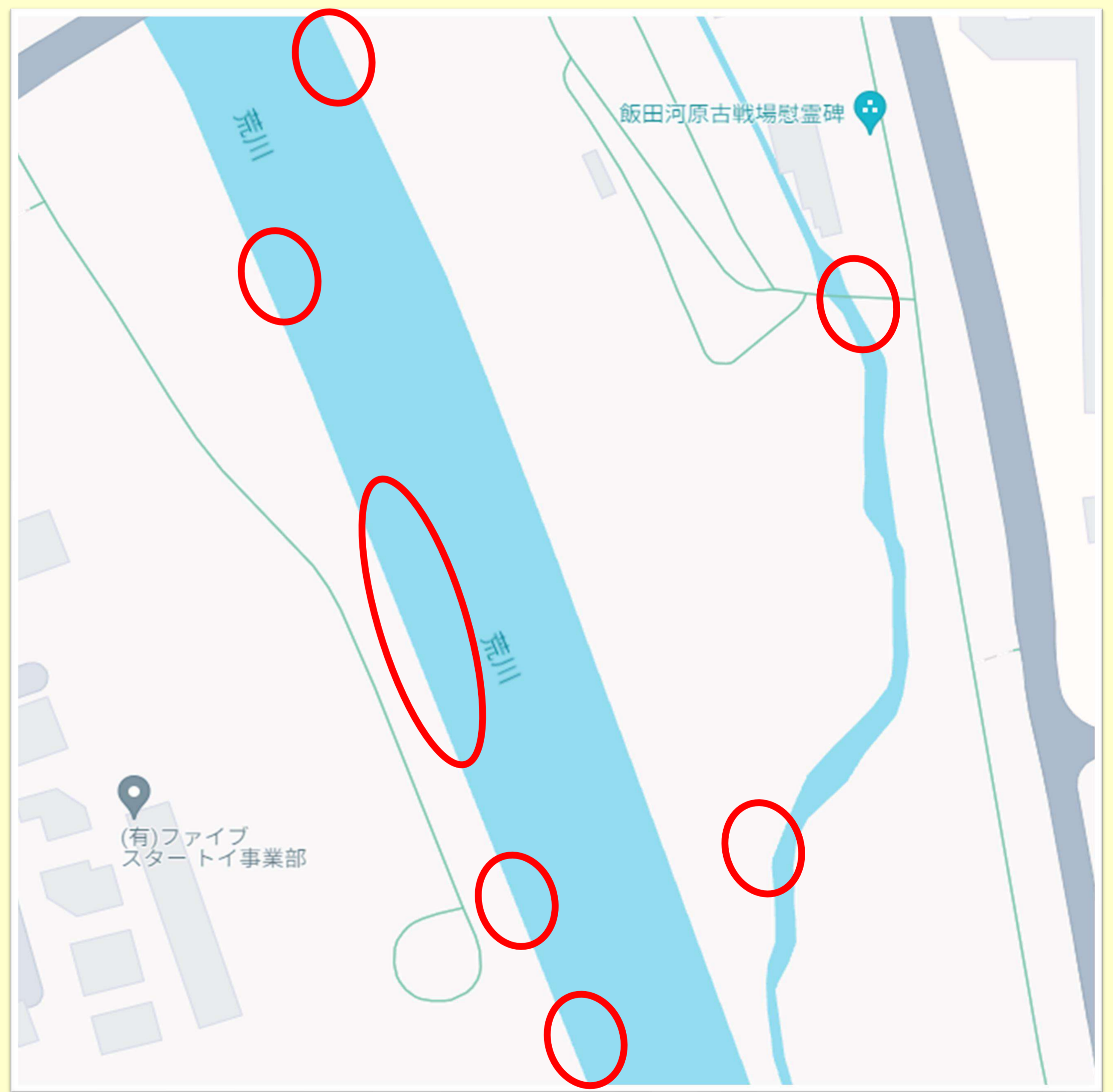
- ・カミツキガメ
- ・ブラックバス
- ・ミシシippアカミミガメ
- ・ウシガエル(オタマジャクシ)
- ・ホソオチョウ
- ・アカホシゴマダラ
- ・アメリカザリガニ など

### 【標本作成】

- ・骨格標本
- ・樹脂標本
- ・透明標本
- ・昆虫標本

## 外来種駆除

オオカワヂシャはカワヂシャと交雑してホナガカワヂシャと呼ばれる雑種を形成し、その雑種は発芽能力のある種子を生産することが確認されており、在来種の遺伝的攪乱が生じているため、外来生物法の特定外来生物に指定されており、山梨でも大きな問題になっています。昨年、荒川水系のフィールドで調査を始めましたが、オオカワヂシャの移入はあまり確認できませんでした。しかし、今年は多くの箇所で見つかり、大規模な駆除活動が必要となることになりました。今後も駆除活動、および啓蒙活動に努めていきます。下図は、実際に確認したオオカワヂシャの画像と駆除したオオカワヂシャの一部です。500mlのペットボトルと比較していただければ量がわかると思います。一度に駆除するオオカワヂシャは約30kgです。



上図は、オオカワヂシャの駆除を行った箇所です。



## 清掃活動

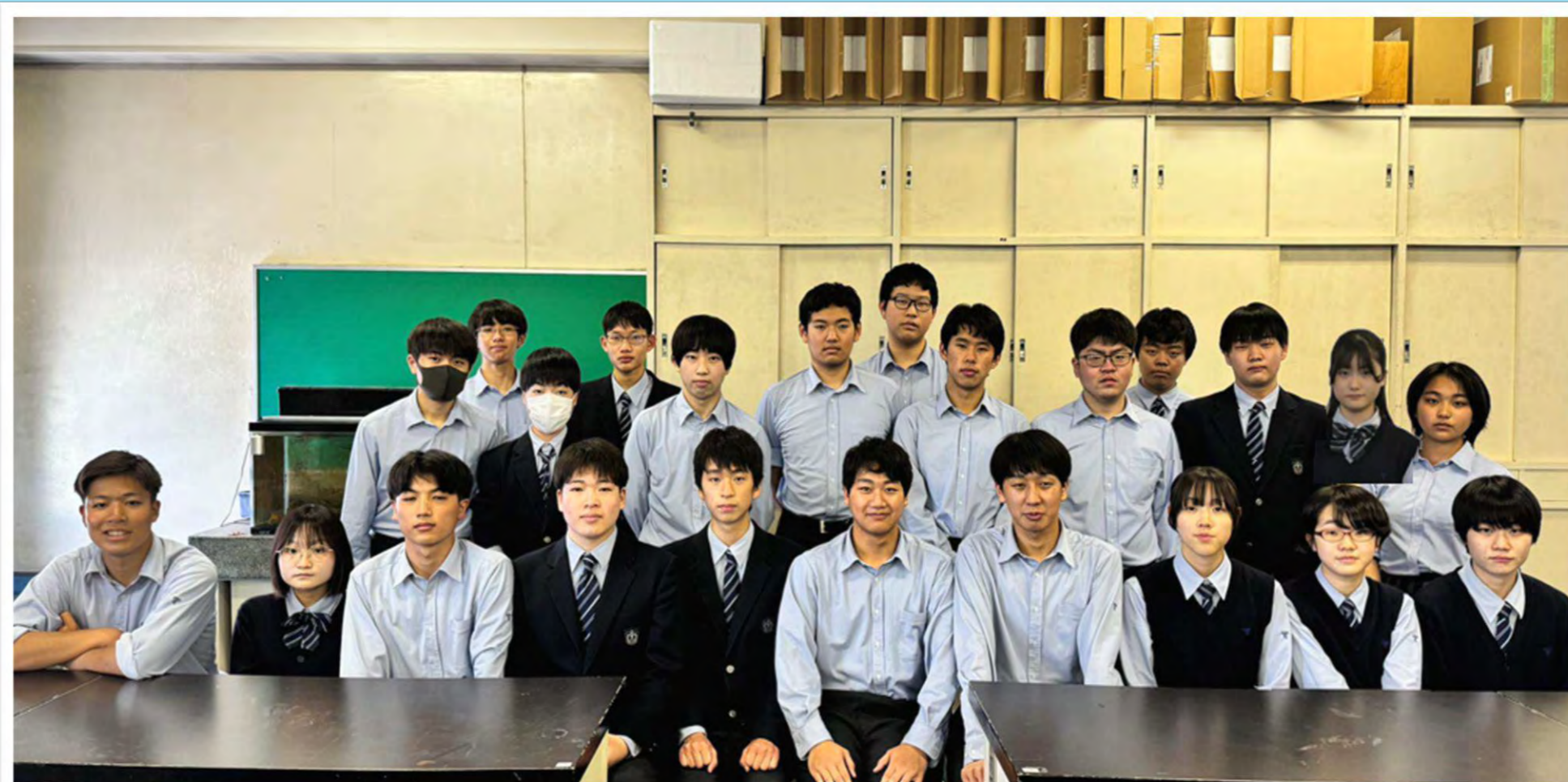
2021年4月より、荒川清掃を行い、現在回収したごみの総量は70トン以上になります。数年かけて河川清掃を行っておりますが、なかなかゴミの量は減りません。そのため、現在は、本校のラグビー部、生徒会の仲間も加わり、大規模な清掃活動を行っています。今後もボランティアの輪を広げていきます。



## 今後の展望

【環境・生物】 昨年より、生態系を継続的に調査し、データ化することで、オオカワヂシャの移入に気づくことができました。現在、荒川水系の貢川を調査し、オオカワヂシャの駆除計画を立てています。また、護岸工事の影響で激減したミナミメダカを確認できたことを受け、保全に尽力します。

【ゴミ問題】 昨年より、ゴミをデータ化しましたが、大きなゴミの量の減少はあまり確認できませんでした。そのため河川清掃をする人数の確保することが急務です。現在、ラグビー部、生徒会と高校内での輪を広げていますが、今年度も、さらなる拡大を目指し、ゴミ問題に対処します。



## 活動団体プロフィール

自然科学同好会は、平成29年に作られた部活動です。部員27名で、普段は学校周辺の生物の採集、飼育、研究を行っています。

ボランティア活動としては、清掃活動と外来種の駆除を行っており、荒川の生態系を守ることが目標です。